

作品名「惑星の私」

天の川に私の分身がいる

宝石に埋もれた光らぬ石だ

川の一部とも知られていない

そんな石でも息をしている

川を軸に点対称になり対峙する

織姫と彦星よりも仲がいい

私たちは光れない石だ

天の川をきれいというのは

ただの石ころがそこにいるからだ

私を認めてあげたいからだ

宇宙の私がそこにいるからだ